

ポスト・コロナのオンライン教育

教育学研究科総合教育科学専攻GCL 柳百合子

人文社会系研究科欧米系文化研究専攻IIW 渡邊禎恒

農学生命科学研究科応用生命化学専攻IIW 加藤麦彦



コロナ禍にて通学不可

第一段階（小中高）

導入

(柳)

第二段階（大学）

個別最適化

(加藤)

第三段階（国際）

多様化

(渡邊)

オンライン教育の現状

GIGAスクール構想

■ 通信ネットワーク環境を整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・脳力が一層確実に育成できる教育環境を実現する（文部科学省，2020）。

■ 予算案：「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」に2292億円を計上。

現状

■ 学校にて遠隔教育を実施している自治体は20%台（文部科学省，2020）

■ 学校のICT環境整備状況は脆弱5.4/台（文部科学省，2019）

■ 学校の授業におけるデジタル機器の使用時間はOECD加盟国で最下位（PISA，2018）

➤ 本来の理想と沿わないオンライン教育の現状

不登校の現状

不登校の児童・生徒は全国に**16万人**，増加，1991年-2018年までに約**3倍**（文部科学省，2018）
不登校経験者の就業率は，19・6%，若年層は不登校から直接引きこもりに移行する者が多い（30.6%）（和久田，2020）

不登校児へのオンライン教育

- 個々の児童生徒に応じた遠隔教育（文部科学省，2018）
- 熊本の事例：普段なかなか授業に参加できない子どもたちもオンラインだと**ちょうどよい距離間**のため参加しやすい（遠藤，2020）。

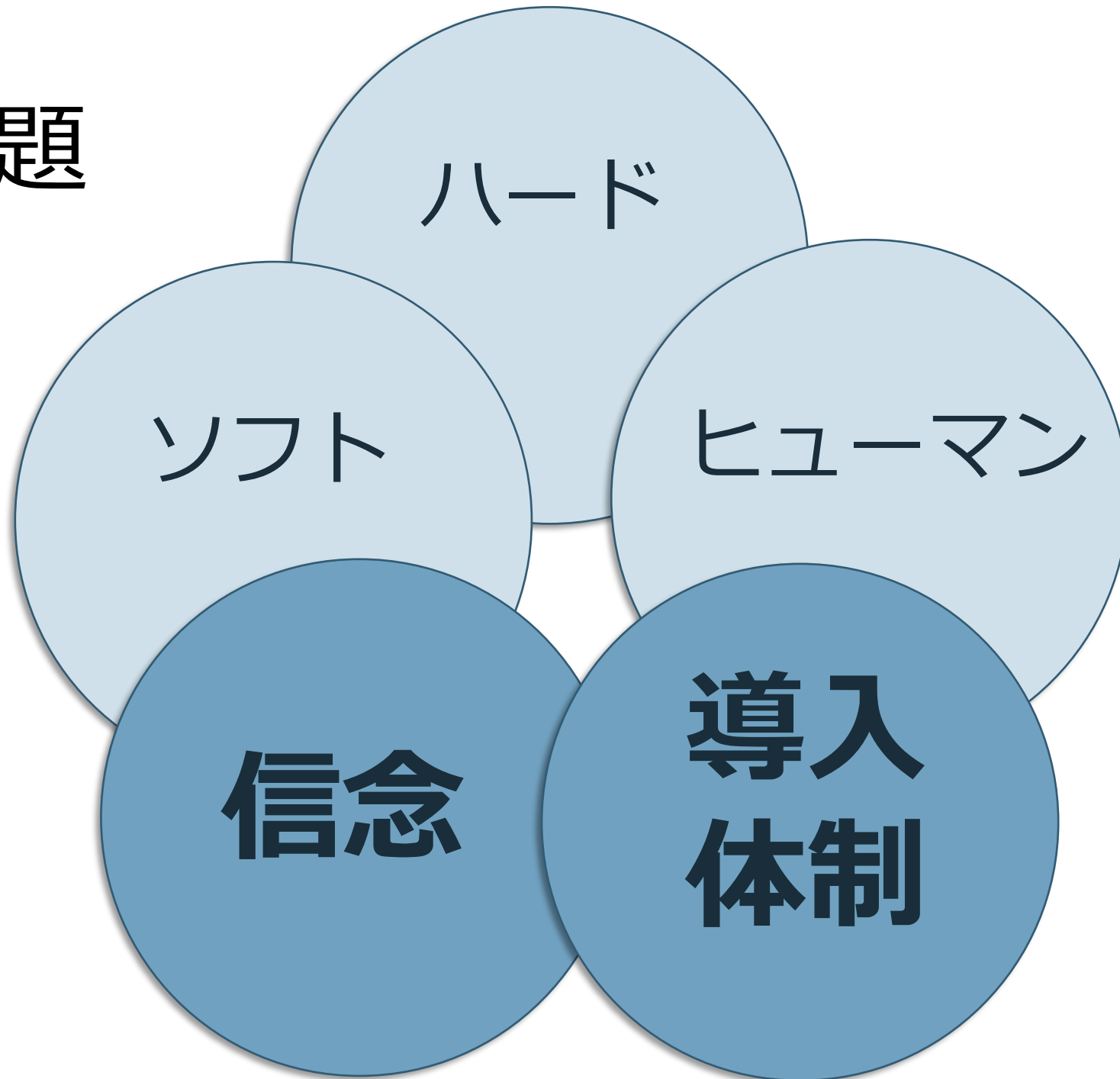
現状

- 自宅におけるIT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした児童生徒数は**115人**に留まる（文部科学省，2018）

➤ 多くの不登校児が教育を受けられていない現状



導入課題



信念：出席至上主義・伝統的指導観

■ コロナ禍の人々の行動や制度には**態度や信念**が深く根付いている

(Robinson, J. P., & Curtiss, M. 2020)

■ 量的研究から**伝統的指導観**がこの**情報化社会の学習環境**を実現する**妨げ**になることが確認

(二宮・本田, 2003)

■ **出席至上主義**や**就学義務**についての議論を進め、学校に通えない子どもたちに**資源の再分配**を行うことを考えざるを得ない時期であり、委員会・教師・保護者の意識改革と**マイノリティを大切に**する学校姿勢が欠かせない (文部科学省, 2020)

➤ 学校教育は多様性を認めるためどうあるべきかを考える
議論の必要性

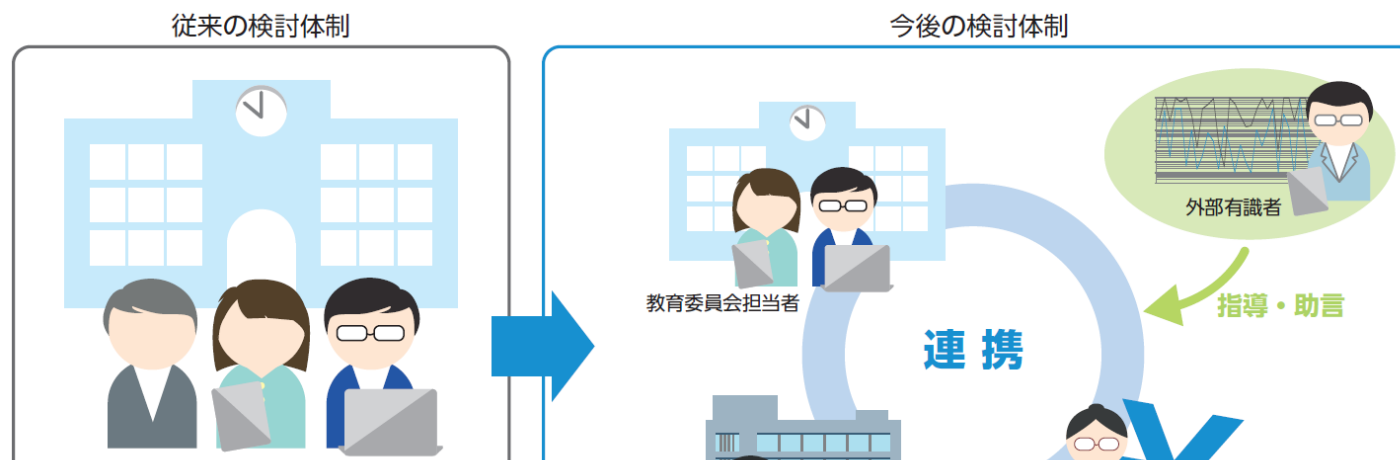
学校と自治体の体制

学校

- **横並び姿勢**：自ら考えることなく，横並びの声に安心してゆだねてしまう姿勢
- **受け身姿勢**：教育委員会経由で文部科学省からの通知を待つ受け身の姿勢（住田，2020）

各自治体

- 予算案を作る市長の重要性。教育長や教育委員会は説明により市と学校，地域をつなぐ必要（遠藤，2020）
- 地域のビジョンを明確に示しそれを共有した上で進める**府省庁縦割りによる対応ではなく，複合的な取り組み**（荒木，2020；松田，2020）



➤ 個人の信念，校内の導入姿勢，自治体の導入体制の整備が重要

オンライン授業の問題点



- PCや回線トラブルにより、学生・教師共に思い通り進行できない場合がある
- 学生の反応が確認しづらく、理解できていないのに進んでしまったり、演習の時間が不足していたりする
- 同じような内容の授業を毎年行う必要がある



- ✓ 授業の動画を録画し、学生が自由な時間に視聴することで解決
- ✓ 掲示板やチャット形式のオンラインサービスを利用することで質問や意見を受け付けることも可能

授業録画によるメリット



教師

- 動画編集を行うことで、わかりやすく、効率的な授業となり得る
- 授業内容を変更する場合は、一部だけ差し替えればよく、講義の負担が減る

学生

- 学生は自由な時間に授業を視聴することができる
- 授業を一時停止したり、巻き戻したりできる
- 質問のログを残せば、過去の質問を読むことで疑問が解決できることが期待される
- わからない部分を繰り返し見る・すでに理解している部分は飛ばすといったことが可能

➤ 学生・教師両者にとって今より効率的な授業となる

コロナ時代：オンライン留学の幕開け

オンライン留学という新たな学位認定システムの可能性

→ 海外の有名大学のcertificateやMBAをオンラインで取得

ハーバード大学のcomputer scienceの無料オンライン講座\$90でcertificate取得可

Catalog > Computer Science Courses > HarvardX's Computer Science for Game Development

CS50's Introduction to Computer Science

An introduction to the intellectual enterprises of computer science and the art of programming.



2,405,831 already enrolled!

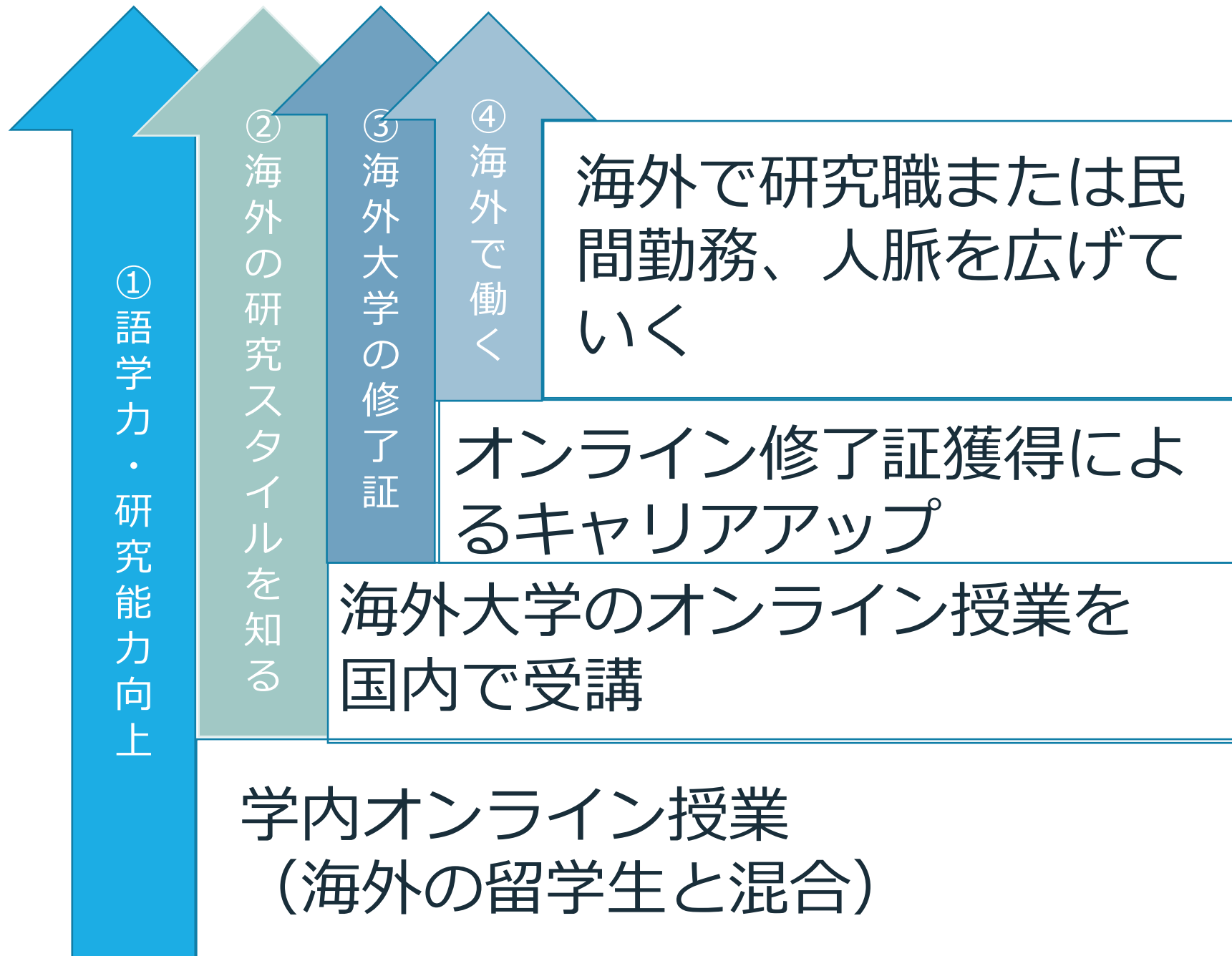
Enroll
Starts Sep 9

I would like to receive email from HarvardX and learn about other offerings related to CS50's Introduction to Computer Science.



This course is part of a Professional Certificate

グローバル人材の育成



オンライン留学のための制度設計

■ パンデミック収束後、一部の講義を「国際交流科目」としてオンラインで続け、各国の学生のオンライン受講を許可・単位認定

■ 「オンライン留学」は、実際に留学する前のステップとして有効
→ 学生の就活スケジュール、経済的事情にも適合

語学力養成

- ・ 外国語教員を外国から直接雇用し、質と量を向上
- ・ 日本語や日本文化を教える日本人T Aを外国の大学へオンライン派遣

協定派遣手続きの簡素化

- ・ 「オンライン留学」ならビザ取得や書類選考等の煩雑な手続き不要
- ・ オンライン留学中の成績や発表が、実際の留学の選考基準に

オンラインを生かした新たな国際交流

①大学間で学生交流を図るマッチングサイト創設

- ・匿名で、趣味や学びたい言語、研究テーマなどを登録
- 自動的に、言語交換をする外国の大学の学生、若手研究者で共同研究希望者などの候補が提案される
- ・東大が複数の協定校とこうしたサイトを作れば、数十万人規模の登録者が見込まれる

②オンライン留学を各企業がバックアップ

- ・キャリアアップのため働きながらオンラインで海外大学の経営学などを学ぶ。
- ・グローバルな人材を、低コストで育成できる。

ポスト・コロナ
教育

第一段階（小中高）

導入


(柳)

第二段階（大学）

個別最適化

(加藤)

第三段階（国際）

多様化

(渡邊)